

絵本リスト「被災地に届けたい絵本」を使った学習計画案（例）

絵本図書館ネットワーク

学習名：被災地に届けたい思い

対象：小学校高学年以上

目標：絵本リスト「被災地に届けたい絵本」を参考にして自身の被災地への想いを表現する。

概要：この学習は、道徳や国語の要素を取り入れた図書(絵本)学習である。絵本リスト「被災地に届けたい絵本」の中の絵本やカテゴリー分けから、絵本を持ち寄った方々や選定メンバーの想いを推察し、その想いを手掛かりにしながら自身の被災地への想いを整理し、絵本と自身の言葉で自己の想いを表現するものである。絵本のテーマに自分の想いを重ねることで、絵と文の読み物である絵本が他者へ心情を伝える表現ツールとなることを知り、興味関心が高まることで読み物の幅を広げ、今後の読書習慣の定着を期待している。

内容： (時間) 45分×2コマ or 90分×1コマ (場所) 教室 or 図書室

	学習内容	指導内容
15	1. 被災地について話し合う  2. めあてを知る	(問)「被災地って何?」、「被災地ってどこ?」 →地震・水害などの災害を受けた土地(地域) →能登半島(石川)、熊本、東北(福島、宮城、岩手) ○被災地の様子と避難生活の写真の提示
		絵本を使って被災地への想いを届けよう
30	3. 被災地へ届けたい想いを出し合う	(問)「避難されている人へどんな声掛けをしたい?」 →元気をだして、笑顔でいて、希望を持って、無理をしないで、誰かとつながっていて・・・ ○カテゴリー分けと関連させる
45	4. 「被災地に届けたい絵本」リストに共感することを出し合う	○リスト作成の目的と経緯を説明する (目的)→避難生活を送る方々の心のケアとしての絵本 →被災地での読み聞かせの選書の参考 (経緯)→金沢でのイベントで絵本を持ち寄った人の思い →全国各地の選定メンバーの思い ○リストにある絵本を自由に読む時間を確保する ○絵本の内容とカテゴリー分けについて、共感できる絵本についていくつか発表させる【ワークシート】
60/15	5. 被災地で読みたい1冊を選び、絵本に添えるメッセージを考える	○被災地で読み語りをするボランティアを想定して選書させ、読み聞かせの前後に添えるメッセージをいくつか発表させる【ワークシート】
75/30	6. まとめ ①読み物に自己の想いを重ねることの大切さを知る	(問)「本をプレゼントしてもらったことがありますか?」 ○プレゼントされた本に託された思いについて考えさせる ○自身が本をプレゼントすることができるように、読み物の幅を広げることの大切さを話す
90/45	②ことばで心情を伝えるいくつかの方法を知る。	○会話・手紙・詩・歌・俳句・短歌などを例に挙げ、ことばを使って相手に心情を伝えることの尊さを話す

準備：「被災地に届けたい絵本」リストにある絵本、電子黒板

※可能であれば事前に図書の時間などを利用してリストにある絵本を読む時間を確保する